令和３年度の教育活動等に対する学校評価書

令和４年３月３日

学校法人大石寺学園上野幼稚園長　吉野　友勝

学校法人大石寺学園上野幼稚園学校関係者評価委員長　永田　雅一

１　幼稚園の教育目標

上野幼稚園は、教育基本法の精神に則り、学校教育法に従い、幼児を保育し、適当な環境を与えて宗教情操の涵養と健全な心身の発達を助長することを目的とする。

本園ではめざす幼児像として

「健やかな体と豊かな心を育てる」ことを目指し、具体的に次の５項目を掲げる

１．丈夫な体を持つ子どもに

２．感謝の心、思いやりのあるやさしい心を持つ子どもに

３．豊かな自己表現ができる、創造性を持つ子どもに

４．頑張る心、辛抱強い心を持つ子どもに

５．よく聞き、よく見、よく考えることができる子どもに

２　本年度の重点目標（学校評価の具体的な目標や計画）

評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することによって、教師自らが客観的に自園を見る目を養い、教育内容の改善に主体的に取り組んでいくことを重点項目とする。

３　**自己評価結果とそれに対する**学校関係者評価結果

（※評価点は、Ａ（十分に成果があった）・Ｂ（成果があった）・Ｃ（少し成果があった）、Ｄ（成果がなかった）の段階で表すこと。）

評価項目	自己評価		学校関係者評価委員会	
	評価点	幼稚園としての反省と改善策	評価点	意見
・教育計画は、子どもの実態を的確につかみ、幼児の発達に即した指導が工夫され、具体的な手立てが講じられている。	B	・毎年、毎月その時の子どもの様子や発達状態をみながら計画している。 ・経験が少なく子どもの成長過程が細かくわからないので学びを深める場となっている。	B	
・園がめざす幼児の姿を具体的にイメージできる。	A	・翌月の計画の時、全体の共通理解を図ってきた。 ・人の話をしっかり聞くのように具体性がありイメージしやすい。	A	ティッシュボックス利用のバッグ作りで、部品を手に取って具体的に説明し、関心を高め、創作意欲を引き出す指導がされていた。
・子どもの良さを認めて評価しようとしている。	A	・担任だけでなく全員で認める体制ができている。 ・個性尊重ができている。 ・メダル・ペンダント授与など具体的な面もありわかりやすい。	A	発表会の配役が園児に合っており、１人１人を良く見ていると感じた。 廊下の壁に貼られた POP やメダルが印象的。明るく楽しい園を印象付けると同時に、先生方の努力・工夫に敬服します。
・遊びを通して工夫したり、協力したりする姿が見られる。また、遊びを通しての総合的な指導ができている。	B	・集団ゲームがクラスの団結力になった。 ・遊びの幅が広がりつつある。 ・自然物・廃材利用等で手先の器用さや創造力の育ちにつながるような遊びを通しての指導をもっと研究したい。	A	普通に家庭で廃棄されるものなどを再利用して新たな物を作る喜びは、園児の想像力を引き出し手先の発達にも効果があると感じました。

・規則正しい生活習慣の定着に向けての指導を行う。	B	・毎日の声掛け、繰り返しが良い姿を生み出している。 ・個人差があるので見守りを大事にしたい。 ・自分自身も見直したい。	B	
・全職員が年に 1 回以上公開保育を参観し、研修する。	A	・新しいことを吸収できたり、様々な気づきや学びになっている。 ・お互いを高め合える。	A	公開保育を参観し、先生が様々な工夫をしながら授業を進めていることに感心しました。他の先生も参観しお互いが向上できる良い取組だと感じました。
・各研修会や研究会に積極的に参加して職員に資料提供をする。	A	・研修会参加後の報告会は知識が深まり大変有意義なものになっている。	A	
・一人一人の幼児をよく観察するように心がけている。	A	・園児数減少にともない見守りやすい。 ・成長した姿を見逃さないようにしている。 ・心の変化にも注意している。	A	日々の様子を折に触れ伝えてくれるのでありがたい。 各園児の大きな顔写真が廊下に貼りだしてあり、その下にひらがなで大きく名前があり、先生や園児同士の会話のきっかけにも、子ども自身の喜びにもなっていると思いました。
・教員間の協力的な指導ができている。	A	・教えることは自分の学びになる。 ・先輩に相談しやすい。 ・園全体に協力体制がある。	B	以前より先生方の雰囲気が良くなったと感じている。
・保護者の実情や要望による預かり保育ができている。	A	・改善が進み、来年度から新しい体制に感謝の声が寄せられている。	C	預かり保育の体制を理由に仕方なく他園を選んだとの声がある。

・月のよていや学年だよりの発行など、情報を発信している。 ・情報発信手段として、ホームページを活用するなど、広く周知するための工夫をしている。	A	・学年・園長だより・月予定等で行事や日程を細かく伝え情報提供ができている。 ・ホームページはまめな更新・専属担当が必要。 ・園庭開放も計画した方がよい。	B	「月の予定」に誤りが多い時がある。チェック体制を厳格に。 毎月の区長会での報告や園長だよりで、行事予定は紹介されるが実際の様子は情報が少ない。 ホームページのフォトアルバムに先生の感想やエピソードがあると良い。
・季節の行事や遠足、保育参観の実施状況は、より活発な取り組みになっているか。	A	・様々な行事から学ぶこと、感じること、新しい発見につながる。 ・貴重な体験の場になっている。 ・コロナ対策をとりながら、前例にとらわれず新たな考え方・方法で工夫しながら取り組んでいる。	A	ジャガイモ掘りを見学した際、各学年に適した対応をし、園児と一緒に楽しみながら、園児のやる気をうまく引き出していると感じました。